

授業科目	高次脳機能障害 I (概論)				
担当者	森岡悦子・中谷謙				(オムニバス)
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

本講義では、注意、記憶、認知、行為、視空間認識、行為、遂行など、大脳の機能を理解し、それらの機能が損傷された結果生じる高次脳機能障害の臨床像と障害機序を学ぶ。

■ 到達目標

1. 大脳機能について、正常のメカニズムを理解することができる。
2. 各々の高次脳機能障害について、臨床像を説明することができる。

■ 授業計画

- 第1回 高次脳機能障害の概要：高次脳機能に関わる中枢神経系の機能と情報処理システム (森岡)
- 第2回 注意の機能と特性 (森岡)
- 第3回 記憶の種類、記憶の回路とメカニズム、病変別記憶障害の特徴 (森岡)
- 第4回 失行、行為、行動の障害 (中谷)
- 第5回 失認と関連症状 (森岡)
- 第6回 無視症候群・外界と身体の処理に関わる空間性障害 (中谷)
- 第7回 前頭前野と遂行機能障害・外傷性脳損傷による高次脳機能障害 (森岡)
- 第8回 高次脳機能障害の臨床像のまとめ (森岡)

■ 評価方法

筆記試験80%、平常点(小テスト、授業への積極性)20%

■ 授業時間外の学習(予習・復習等)について

授業中に示された要点を中心に、よく復習すること。

■ 教科書

書名：高次脳機能障害学 第2版
 著者名：石合純夫
 出版社：医歯薬出版株式会社

■ 参考図書

書名：高次脳機能障害学
 著者名：長谷川賢一
 出版社：建帛社

■ 留意事項

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規定に定める第16条を適用し、当期科目の全ての試験を無効にする。

■ 講義受講にあたって

--